

ガソリンスタンド等に設置する流量調整器の製造中止について

令和 4 年 11 月

神戸市建設局下水道部管路課排水設備担当

流量調整器の概要

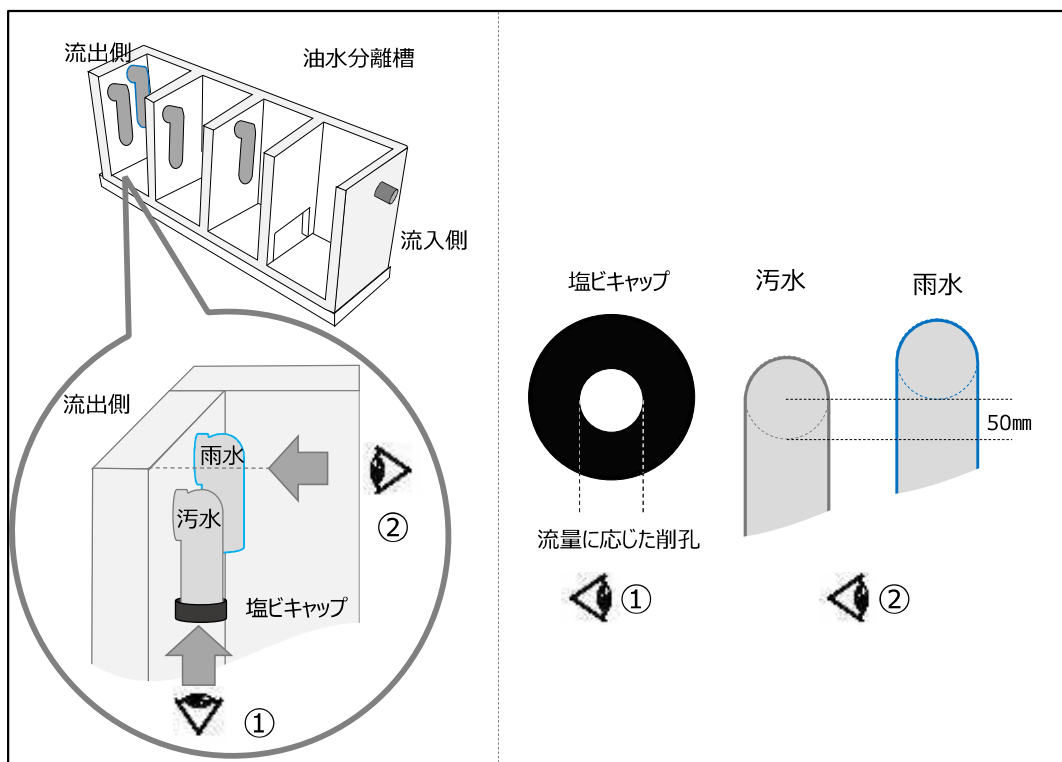
ガソリンスタンド等に設置される大型洗車機は屋外に設置され、雨天時には排水に雨水が混入する場合がある。その場合、晴天時には污水管へ排除し、降雨時には必要な排水量以外を雨水管へ流すように制御する流量調整器の設置を求めてきた。この度、流量調整器が製造中止され廃番となるため次の対応とする。

流量調整器製造中止に伴う方針

- ・ 今後はオリフィス構造による流量調整制御を行う。

具体的には、流出口に塩ビキャップを装着し、流量に応じた削孔を施す。

削孔径は、流量調整器による制御実績を踏まえ、決定した。

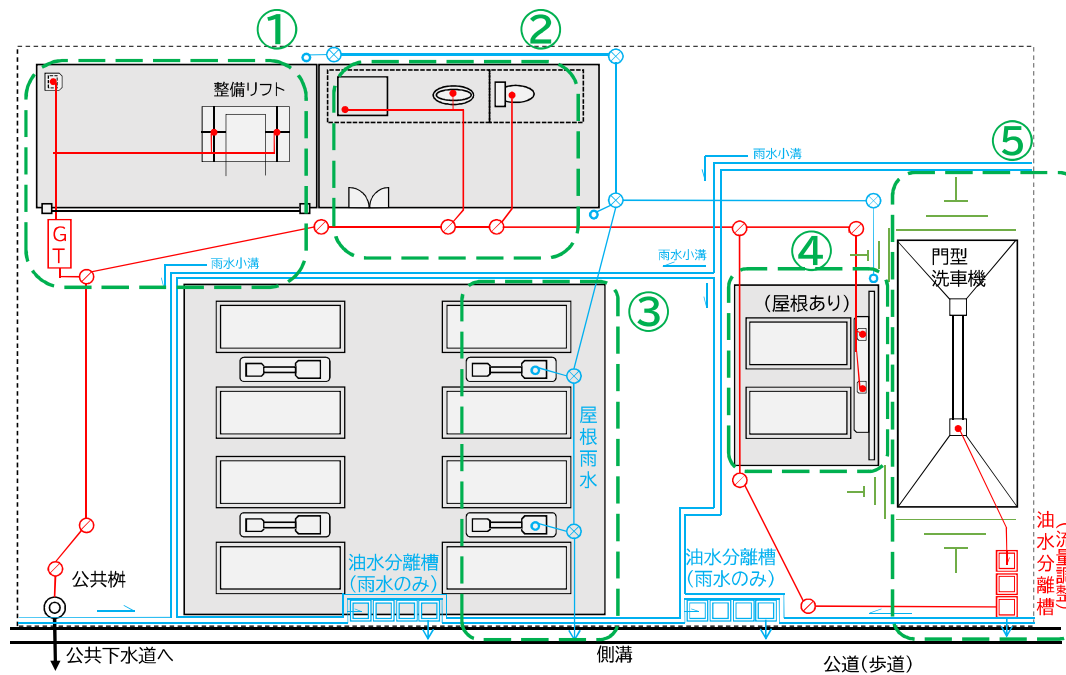


今後の指導方針

流量(Q)	削孔径 (mm)
～10L/min	30
～20L/min	35
～30L/min	40
～40L/min	45
～50L/min	50

流量に応じた削孔径

○ ガソリンスタンドの屋外門型洗車機（例）



【①～⑤の注意点】

- ① 室内の油脂等が混ざる汚水は、単独でグリース阻集器を設けて汚水に接続
- ② トイレや手洗いは直接汚水に接続
- ③ 屋根雨水は油水分離槽を通さずに、側溝に接続
- ④ 屋外の水洗は屋根を設けて汚水に接続
- ⑤-1 門型洗車機の周辺は、路面勾配や側溝等を設けて、洗車スペース外からの雨水の侵入を防止
- ⑤-2 流量調整を行う油水分離槽へは、他の下水(汚水・雨水)を接続しない

⑤-1 門型洗車機の周辺の雨水侵入防止 (路面勾配や側溝等の設置例)

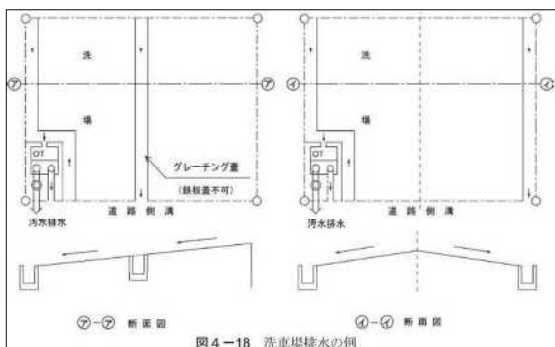


図4-18 洗車場排水の例

⑤-2 流量調整を行う油水分離槽の構造 ※ 他の下水(汚水・雨水)を接続しない

